

平成23年度事業計画

I 事業方針

平成23年度は、第3次中期計画（平成22年度～平成24年度）の2年目にあたり、引き続き計画の基本方針に沿って事業を行う。

1 MICE事業部門

国・観光庁では、平成21年に、海外との誘致競争に打ち勝つため、施策の対象を狭義の国際会議（コンベンション）から MICE(*)に拡大し事業を推進することとし、「MICEアクションプラン」を策定し、認知度の向上、主催者等への支援、ソフトインフラの整備等を行い、アジアでNo.1の国際会議開催国となることを目標に、取組みを始めた。

MICE・国際会議は、国内会議よりも会議の準備・運営等により多くの費用が投じられ、また参加者による滞在期間中の宿泊施設の利用や観光等における積極的な消費活動等から、雇用や税収などの経済波及効果が大きく見込まれるだけでなく、地域の知名度の向上、観光・産業・文化のブランド化等による地域のイメージアップ効果等が大きく、千葉県の発展、ひいては雇用の拡大、県民所得の向上等に寄与できるものである。

このため、当財団では、第3次中期計画において、「コンベンションから MICE へ」を掲げたところであり、平成23年度も、コンベンションの中でも特にUIA基準(*)に合致する国際会議に重点を置きながら、上記効果が期待できる、1,000名規模以上の大型学術会議、社会影響力の高い政府間会議や民間レベルの経済会議、海外の大型企業インセンティブなどを中心に、国際会議観光都市（千葉市・成田市・木更津市・浦安市）や幕張メッセ、かずさアーク、県内のホテルなどの施設のみならず、県内の大学や経済界、会議等のテーマに応じた関係機関・団体等と連携して、チーム千葉を挙げて国内外の主催団体等へ積極的な誘致活動を展開する。

さらに、国、周辺自治体等との連携を図り、Tokyo Bay Area のブランドを活用し、国内外に千葉ブランドの効果的なPRに努める。

(*)MICE（マイス）とは？

企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、イベント、展示会・見本市（Event/Exhibition）の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

(*)UIA基準の国際会議…次のいずれかを満たす会議

- (1) 国際機関・国際団体の本部が主催又は後援した会議
- (2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議で、①参加者数 300人以上、②参加国数5カ国以上、③開催期間が3日以上、の条件を満たす会議

2 国際交流部門

我が国と世界との関係がますます緊密化する中、第3次中期計画に掲げた国際交流・国際協力の推進と多文化共生社会づくりを進めるため、千葉県における中核的な機関として、市民レベルで主体的な活動を行う民間交流団体をはじめ、ボランティア、地域の国際交流協会、大学、行政機関等と連携を強化し、県民等による国際理解の促進、海外との良好な関係づくりに寄与する国際交流活動の推進、開発途上国等の発展を支援する国際協力活動の促進、在住外国人が地域社会の一員として県民と相互理解を図りながら暮らしやすい生活を目指していく多文化共生の実現等を図る。

II 主要事業

1 チーム千葉による MICE 誘致・支援の実施

(1) 国際会議の誘致・開催目標

関係機関（MICE 開催施設、千葉県、国際会議観光都市、大学等）との連携、協働による MICE 誘致活動。

国際会議誘致・開催目標件数 [単位：件]

	誘致	開催	実績		
			誘致	開催	
平成 22 年度	35	29	19	28	*見込み
平成 23 年度	37	34	—	—	
平成 24 年度	39	36	—	—	

(2) 誘致拡大のための推進体制の強化

① 国内誘致活動

- ア 大学、学会等のディビジョンメーカー（MICE 開催の決定権を持つ主催者等）訪問、視察受け入れ
- イ 千葉 MICE サロン（主催者セミナー）による主催者との情報交換（1 回）

② 海外誘致活動

- ア 海外展示会出展
IMEX2011（フランクフルト）、IMEX America 2011（ラスベガス）への出展。
- イ VJ 地方連携事業
「Tokyo Bay Area」ブランド化のため、関東運輸局及び東京観光財団、横浜観光コンベンションビューローと連携して、メディア招請等のプロモーション活動を実施する。

③ マーケティング活動

- ア 戦略的、効果的誘致活動を行うため、MICE 情報のデータ収集及びデータベースの活用と運営管理
- イ ミーティングプランナーズガイドの改訂

④ 国際会議観光都市との連携

国際会議観光都市と連携した国内外の展示会（IT&CM CHINA 2011（上海）、CIBTM2011（北京）、IME2011）への出展、MICE キーパーソン等の招聘（Meet Japan 2012（県内））ほか。

⑤ MICE 支援事業

ア 助成金・貸付金制度の活用

国内外競合都市との競争に打ち勝つため、千葉県が創設する国際会議開催補助金を県の指導を受けながら有効に活用するとともに、これを補完するものとして当財団独自の開催助成制度（限度額 2,000 千円）・開催準備資金貸付制度（限度額 5,000 千円、3 年間無利子）の適正な運用を図る。さらにこれらの制度と連携した開催市からの補助についても要請を行う。

イ 千葉県観光物産協会等との連携による千葉県独自の支援プログラム、アトラクションの開発・実施、新たなユニークメニュー（千葉県ならではの特徴あるパーティー会場等）の発掘等、競合都市との差別化を図るとともに MICE グッズ等を開発する。

2 国際交流・国際協力の推進と多文化共生社会づくり

(1) 中核組織としての機能強化

① 情報提供事業

ホームページの運営や会報の発行、千葉県外国人学生住居アドバイザー事業の実施等。

② 在住外国人支援事業

外国人テレホン相談、在住外国人のための無料法律相談・無料総合相談会、サバイバル日本語講座、地震・台風・火事体験ツアーの実施等を通じた在住外国人への生活支援。

(2) 多文化共生時代のネットワークづくり

① ネットワーク化事業

国際交流ボランティア制度の運営、多文化共生を始めとしたボランティア育成や国際理解促進のための講座等の実施、様々な主体との意見交換等を通じたネットワークの形成。

各種講座受講者数（目標）

	国際理解促進	ボランティア 向け	実 績	
			国際理解促進	ボランティア 向け
平成22年度	3講座 250人	3講座 100人	3講座 364人	3講座 111人
平成23年度	3講座 350人	3講座 125人	—	—
平成24年度	3講座 350人	3講座 150人	—	—

3 「魅力ある千葉」を国内外へ発信

(1) 千葉県の有する魅力を活用した事業展開

① 各種媒体（広報紙（Face to Face 年2回発行、ぶらりネット CHIBA 年6回発行）、ホームページ、CCB-IC ニュース（随時配信）、広告（年1回）等）の発行、実施

② フィルムコミッション事業（受託事業）

千葉県の知名度、イメージアップにより国内外観光客誘致等に寄与。

③ トラベルマート2011（受託事業）

④ Map of Chiba 等外国人向け観光マップ、ガイドブック等の情報修正（受託事業）

(2) 海外向け広報活動の拡充

- ① プレスリリース、英文 E-ニュース（年 6 回）
- ② ホームページ（英語版）を充実、強化し、MICE 開催地としての千葉県の認知度向上
- ③ MICE に精通し、千葉県での MICE 開催メリットを理解する「Chiba MICE Ambassador」を活用した、世界への MICE 開催地千葉県の情報発信

4 大学等との連携による事業強化

- (1) 大学・研究機関・関係団体・行政との情報交換を密にすることによる MICE 関連情報の早期入手、これらとの連携による MICE 誘致や国内外展示会への出展〔再掲〕
- (2) 地元大学や自治体国際化協会など関係機関との連携促進による多文化共生社会等への理解促進

5 公益財団法人への移行と自立型経営への転換

- (1) 平成 24 年度を目途に公益財団法人へ移行のための必要な手続き等の実施
- (2) 効率的な事業運営を図るための組織体制を整備
- (3) 自主財源確保の強化
 - ① 賛助会員の獲得
各種媒体や異業種交流事業による当財団の存在意義や活動の PR を通じて、理解者を増やし、新規加入を促進。
 - ② 市場動向を見極めた安全・確実な基本財産運用
- (4) 意思決定の迅速化及び経費削減
事務事業及び組織体制を見直し、意思決定の迅速化及び事務経費の削減に努める。
- (5) 組織内部の相互けん制の強化
組織内部の相互けん制を強化し、事務全般の適正化を推進する。
また、職員等のコンプライアンス意識の向上を図っていく。

Ⅲ 実施事業

1 MICE 事業部門

(1) MICE 誘致・支援事業

① MICE 誘致活動

- ア 目的 MICE を誘致することで、内需の拡大や地域の活性化、ひいては、MICE 関連産業の発達を促していく。
- イ 対象 県内において MICE の開催を目指す、又は開催の可能性のある国内外の主催者等。
- ウ 内容 以下に掲げた事業を実施する。

(7) 国内誘致活動【Ⅱ主要事業 1－(2)－①】

a 主催者訪問と視察受入

ディビジョンメーカーを直接訪問し、千葉県の魅力を積極的に PR するとともに、企画書を提出するなど県内での MICE 開催を働きかける。また、誘致活動の中で主催者の視察を積極的に受け入れ、MICE 適地としての千葉県を PR することで開催決定につなげる。

・主な訪問先：

(a) 県内大学

(b) 県外大学、学会・協会・業界団体等

(c) PCO (Professional Congress Organizer の略。)・イベント会社 (MICE を専門的に企画運営し、そのサービスを提供する法人)、旅行会社等

b 千葉 MICE サロン (主催者セミナー) の実施

新規 MICE 開催情報収集のため、大学・学会・協会、関連団体等を対象にして主催者セミナー「千葉 MICE サロン」を実施する。様々な業種の参加者が交流できる機会を提供し、県内 MICE 施設、当財団の支援プログラムやアフターコンベンション (観光・産業視察) 等の紹介を行い、潜在顧客 (主催者等) に、MICE 開催地としての千葉県の魅力を PR することにより、千葉県への誘致拡大を図る。

c 「MICE 誘致施設連絡会議」の実施

MICE 開催施設及び県・国際会議観光都市 (千葉市・成田市・木更津市・浦安市) 等と当財団との間の情報・課題の共有、意識の醸成や効果的な協働誘致を図るための場として「MICE 誘致施設連絡会議」を年 3 回程度開催する。

(イ) 海外誘致活動【Ⅱ主要事業1-(2)-②】

a 「IMEX2011」出展

欧州最大の MICE 展示会「IMEX2011」に出展し、MICE 主催者に千葉県魅力を直接 PR し、千葉県での開催に結び付ける。

(a) 名称：IMEX2011

(The Worldwide Exhibition for Incentive Travel, Meetings and Events)

(b) 会期：平成23年5月24日～26日

(c) 会場：ドイツ・フランクフルト Messe Frankfurt Hall 8

(d) 主催者：Regent Exhibition, Ltd

b 「IMEX America 2011」出展

「IMEX」と同主催者が米国で初めて開催する展示会「IMEX America 2011」に出展し、MICE 主催者に千葉県魅力を直接 PR し、千葉県での開催に結び付ける。

(a) 名称：IMEX America 2011

(b) 会期：平成23年10月11日～13日

(c) 会場：ラスベガス Sands Expo Convention Center

(d) 主催者：Regent Exhibition, Ltd

(e) 参加者：ホステッド・バイヤー（優良な MICE 主催者等の無料招待者）

（予定）2,000名

c VJ 地方連携事業の実施

インセンティブ旅行等を誘致する戦略として、千葉・東京・横浜の三地域を「Tokyo Bay Area」という地域をブランド化し特長づけるため、関東運輸局、東京観光財団、横浜観光コンベンションビューローと連携して、メディア招請等のプロモーション活動を行い、千葉県開催に結びつける。

(ウ) マーケティング活動【Ⅱ主要事業1-(2)-③】

a 県内への誘致可能性のある MICE 情報収集・整理

当財団で蓄積した過去の開催情報、今後の開催情報等のデータベースを適正に管理・運営し、誘致・支援活動への活用と賛助会員、コンベンション関係者等へ情報の提供を通じ、チーム千葉としての誘致活動を展開する。

さらにインターネット、海外関連団体（ICCA(国際会議協会)、UIA(国際団体連合)、国内関連団体（学会、協会、PCO、旅行代理店等）、JNTO（日本政府観光局）や JCCB（日本コンgresス・コンベンション・ビューロー）、大学関係者、各種刊行物等から得た開催情報等を収集・分析した「CCB-IC 誘致データバンク」の中から、経済波及効果の高い MICE を中心に「開催可能性年別ターゲット MICE リスト」を作成し、県内の様々な地域で MICE が開催されるよう、戦略的、効果的な誘致活動を行う。

- b 県内で開催される MICE 関連統計の整備と分析
県内で開催される MICE の件数、種別、参加人員等を都市別、施設別にデータ収集し、JNTO の国際会議統計や当財団の広報紙を通じて公表するとともに、その分析を行い、県内での開催傾向や問題点等を把握し、将来の誘致に結び付ける。
 - (a) 県内の MICE 開催件数、種別、参加人員等の把握
 - (b) 県内都市別、施設別の開催傾向の把握と分析
 - (c) 参加者傾向の把握と分析
 - (d) 今後の開催傾向の予測と対策

- c 研修会・セミナー参加、各種団体への加入
観光庁・JNTO・JCCB・大学等の会議・セミナー等に参加することで、職員の資質向上、MICE に関する最新情報の収集、あわせて各種団体にも加入し、人的ネットワークの拡充等を図る。
 - (a) 観光庁研修会
 - (b) JNTO 研修会
 - (c) JCCB 実務担当研修会
 - (d) JCCB コンベンションビューロー部会（第 1 回松山、第 2 回九州地区）

- d ミーティングプランナーズガイド改訂
いままで地域別に作成していた、県内の主要な MICE 施設情報を全県版に統一し、最新の情報を主催者、賛助会員等に提供することにより、千葉県開催の魅力を PR し、地域の経済発展に寄与する。

(I) 国際会議観光都市との連携【Ⅱ主要事業 1－(2)－④】

JNTO は海外における観光宣伝、外国人観光旅客に対する観光案内その他外国人観光旅客の来訪の促進に必要な業務を効率的に行うことにより、国際観光の振興を図ることを目的として設置された独立行政法人である。JNTO の県内 MICE 事業の実施のため、県内の国際会議観光都市（千葉市、成田市、木更津市、浦安市）から協賛金を取りまとめ、JNTO との連携のもとで各都市への誘致活動（国内外展示会出展、ディビジョンメーカーの招致、パンフレットの作成等）を実施し、開催へ結び付ける。

a 展示会への出展

MICE 市場においても急激な発展を遂げる中国における展示会「IT&CM China (上海)」と「CIBTM(北京)」に JNTO と共同出展することにより、MICE 開催地としての「CHIBA」の認知度を向上させ、商談により千葉県での開催を働きかける。

また、現地で直接主催者を訪問し、誘致活動を展開し、開催に結び付ける。

(a) IT&CM China 2011

- ・名 称：Incentive & Convention Meeting China (IT&CM China)
- ・会 期：平成 23 年 4 月 13 日～15 日
- ・会 場：上海・中国 上海世貿商城〔通称：上海マート〕
(上海市虹橋地区)

(b) CIBTM2011 (北京)

- ・名 称：China Incentive, Business Travel & Meetings Exhibition
- ・会 期：平成 23 年 8 月 30 日～9 月 1 日
- ・会 場：北京、国家会議中心

b JNTO 主催海外キーパーソン招請事業

海外にある学会本部キーパーソン (MICE 開催地の決定に影響力を持つ主催者等) を日本へ招聘した際に県内の施設等を案内し、魅力を PR し開催に結びつける。

(a) 名 称：Meet Japan 2012

(b) 会 期：平成 24 年 3 月実施予定

c JNTO 主催海外インセンティブ招請事業 (随時)

海外にあるキーパーソンを日本へ招聘した際に県内の施設等を案内し、その魅力を PR することにより開催に結びつける。

d IME2011 (国際ミーティングエキスポ 2011)

JNTO が主催する国内唯一のコンベンション関連展示会「IME2011」へ賛助会員と共同出展し、主催者へ積極的にコンベンション開催地としての千葉県を PR し開催に結びつける。

(a) 名 称：International Meetings Expo

(b) 会 期：平成 23 年 12 月上旬 (2 日間)

(c) 会 場：東京国際フォーラム

② MICE 支援事業【Ⅱ主要事業 1-(2)-⑤】

ア 目的 MICE 主催者が MICE を円滑に開催でき、また、参加者が千葉県の持つ魅力を十分実感できるよう、質の高い、きめ細やかな支援サービスを実施し、経済波及効果の大きい MICE が引き続き千葉県で開催されるよう支援を行う。

また、多様化する主催者のニーズに対応するため、支援サービスを一層魅力あるものに改善するとともに、新たな支援サービスを企画開発する。

これらにより、千葉県における継続的な MICE 開催の実現を図る。

イ 対象 県内において MICE を開催する国内外の主催者等。

ウ 公表方法 当財団のホームページにおいて「開催サポート」として公表。

エ 内容 以下に掲げた事業を実施する。

(7) MICE 開催支援

a 助成金・貸付金制度の運用

MICE 誘致活動を推進するために、開催助成金制度及び開催準備資金貸付金制度を効果的に運用し、MICE 誘致の推進と開催支援を円滑に行う。

(a) 開催助成制度

公共性及び経済波及効果（地元貢献）の高いコンベンションのうち財政的に苦しく、助成金を必要とする主催者に対し、開催助成金を交付することにより、千葉県での開催を円滑にする。

また、千葉県が創設する国際会議開催補助金を補完する制度としても活用していく。

(b) 開催準備資金貸付制度

より多くのコンベンションを開催するため、公共性及び経済波及効果（地元貢献）の高いコンベンションのうち、コンベンション開催までの間に、資金の不足が見込まれる主催者に対し、主催者の希望により、開催準備資金を貸付け、千葉県での開催を円滑にする。（貸付金額 最大 500 万円、3 年間の無利子貸付）

b MICE 開催準備にあたってのコンサルティング業務

県内で MICE 開催を計画している主催者に対して的確なアドバイスを行い、円滑な開催を支援する。

(イ) 支援プログラムの実施及び拡充

MICE 誘致を有利に進めるため、千葉県独自の支援プログラムを実施するとともに、新たな支援プログラムを開発することにより国内競合都市との差別化を図る。また、一部を有償で実施することにより自主財源の確保にもつなげる。

a アトラクションの実施及び開発

MICE 開催時に主催者からの依頼に応じ、千葉県の伝統芸能を中心として、様々な芸能分野のアトラクションの実施を支援するとともに、これらの情報収集を行い、MICE 開催時に提供できるアトラクションの質及び量を充実させる。

b MICE 開催グッズの提供及び企画開発

MICE 開催時に主催者が必要とする開催グッズ（当財団のオリジナルのコングレスバッグ、記念品等）の品ぞろえ及び内容を充実させ、主催者へ提案することにより、千葉県の魅力をアピールする。

また、幕張新都心に関する唯一の総合情報マップ（日本語・英語併記）である「幕張 OFFICIAL MAP」の内容を更に充実し、主催者の円滑な開催運営に資するものにしていく。

c ボランティアの運用

主催者のボランティア活用のニーズにこたえるため、千葉県国際交流センターで行うボランティア（語学、日本文化等）の登録を促進し内容を充実させ、併せて、県民のボランティア活動への参加意欲の向上に寄与する。

d ユニークベニユーの発掘及び企画

コンベンション施設やホテル以外での場所におけるパーティー開催の要望にこたえるため、県内のさまざまな施設の中から、ユニークベニユーを発掘・提供し、千葉県の魅力発信に寄与する。

e 物産コーナーの設置手配及び充実

MICE 開催時に要望のある物産コーナーの設置の手配をするとともに、その内容を充実し、地場産業の発展等に寄与する。

f 上記のほか、インフォメーションコーナーの設置、電光掲示による開催案内の実施等の様々な支援を行い、円滑な開催に寄与する。

③ 誘致・支援事業に寄与する事業の積極的な受託

「フィルムコミッション事業」や千葉県における「トラベルマート 2011」の企画運営など、千葉県の PR となり、インバウンド観光客の誘致の促進を図ることができ、かつ、内需の拡大や地域の活性化、相互理解の増進を図ることを目的とする事業は、MICE 誘致活動とも密接な連携を図れることから、積極的に受託に努め、地域経済の貢献に寄与するとともに、当財団の自主財源の確保にもつなげていく。

ア フィルムコミッション事業【Ⅱ主要事業 3-(1)-②】

県内へ映画、ドラマ等の撮影の誘致を通じ、千葉県の知名度向上、イメージアップ等を図り、国内外の観光客の誘致を促進等に寄与する。

主な内容

- (ア) 映像関係者に対するロケーション撮影及びロケ地に関する情報提供、相談業務その他の撮影支援。
- (イ) 市町村での撮影に関する調整、その他市町村のフィルムコミッション設立を促進するための意見交換会の開催。

イ トラベルマート 2011【Ⅱ主要事業 3-(1)-③】

- (ア) 開催時期 平成 23 年秋
- (イ) 会場 未定
- (ウ) 参加者 海外各国の旅行会社約 300 社、海外旅行メディア約 30 社、国内観光関係者・事業者約 400 社
- (エ) 主催 観光庁及び JNTO
- (オ) 内容 海外各国の旅行会社約 300 社と国内観光関係事業者が 2 日間にわたり、訪日旅行・観光セールスのための商談会を行う。

ウ 外国人向け観光マップやガイドブックの改訂【Ⅱ主要事業 3-(1)-④】

- (ア) 制作時期 平成 23 年度下期
- (イ) 内容 Map of Chiba 等の外国人向け観光マップやガイドブックの情報を最新のものに修正。

(2) 広報事業

① 広報事業

- ア 目的 当財団の公益目的事業の広報として、広く一般に千葉県の魅力及び当財団の活動を発信し、MICE への理解を深め、県内における MICE の開催、参加が促されることにより、地域経済の活性化、雇用の創出を享受でき、もって地域社会の健全な発展を図ることを目的とする。
- イ 対象 MICE に関心を示す団体・個人
- ウ 公表方法 誰でも自由に閲覧できる広報紙、ホームページで公表する。
- エ 内容 以下に掲げた事業を実施する。

(7) 広報紙の発行【Ⅱ主要事業 3-(1)-①】

- a Face to Face：当財団の活動報告、MICE 情報提供（年 2 回 5,000 部発行）
- b ぶらりネット CHIBA：
県内イベント、観光、プレ・ポスト MICE アトラクション情報
（年 6 回、各 16 万部発行）

(4) インターネット事業【Ⅱ主要事業 3-(1)-①、②】

MICE 主催者や参加者、一般来葉者他全世界の不特定多数がアクセスできるホームページにおいて、MICE 開催地としての千葉県の魅力や利便性、施設の PR やイベントカレンダー等 MICE に必要な情報を提供する。

特に、英語版は、世界からの窓口としての役割を担うため、情報提供ツールの強化を行い、海外からのアクセス数を拡大させることにより、MICE 開催地としての千葉県の認知度を高め、誘致につなげる。

(ウ) 国内外プロモーション事業

a プレスリリース【Ⅱ主要事業 3-(2)-①】

当財団の活動成果や MICE 情報を国内外の報道機関に積極的に発表し、メディアへの掲載を働きかけ、広く一般に千葉県での MICE 誘致の重要性・メリット、地域への経済波及効果等の周知と千葉県での MICE 開催を促す。（随時発信）

b CCB-IC ニュース【Ⅱ主要事業 3-(1)-①】

ビジネスチャンスへと繋がるニュースや当財団の成果等を賛助会員や関係者、希望者に向けて配信し、当財団の活動への理解を深め、さらなる協力を得ると同時に賛助会員の増加を図る。（随時配信）

c 英文 E-ニュース【Ⅱ主要事業3-(2)-①】

海外メディアや主催者や千葉県、日本に関心を持つ団体・個人に向けて千葉県及び当財団の情報を定期的に配信し、海外での千葉県の認知度を高め、メディアへの露出を図り、MICE 開催情報の獲得、誘致につなげる。(年6回海外メディア他約2,500件へ配信)

d 国内外広告等【Ⅱ主要事業3-(1)-①】

MICE 専門誌や新聞への広告掲載、当財団の事業活動の案内パンフレットの作成により、千葉県の魅力を発信し、千葉県の認知度向上、イメージアップを図り、千葉県への MICE 誘致につなげるとともに当財団の役割や活動を広く周知する。

e 観光情報センター運営協力

幕張新都心の観光案内と情報提供を行う千葉市幕張観光情報センターの運営に協力し、MICE 開催地幕張エリアの魅力 PR により、地域活性化を図り、MICE 誘致促進に寄与する。

f 視察受け入れ

千葉県の魅力を実感してもらい、千葉県で MICE を開催することの優位性の発信、誘致を促進する。

g Chiba MICE Ambassador【Ⅱ主要事業3-(2)-③】

千葉県を熟知し、MICE 振興への貢献が期待できる Ambassador の MICE 業界におけるマンパワーを活用し、当財団の発信力の及ばない MICE 主催者、エリアへの Face to Face の情報発信と情報収集を行い、千葉県への MICE 誘致促進を図る。

② 異業種交流事業【Ⅱ主要事業5－(3)－①】

- ア 目的 当財団の公益目的事業の広報とあわせて、様々な業種の賛助会員に MICE への理解と賛助会員の相互理解を深めるとともに裾野の広い MICE 事業に参加を促し、そこで創出されるビジネスチャンスが活かされることで、雇用の拡大、税収増が図られ、もって地域経済、社会の健全な発展に資することを目的とする。
- イ 対象 当財団の事業に理解をいただいている賛助会員、その他趣旨に賛同いただける団体・個人（賛助会員になりたいと思われる方を含む。）
- ウ 公表方法 誰でも自由に閲覧できる媒体（Face to Face（HP 上）、報道発表等）で公表する。
- エ 内容 異業種交流、商談、ブース出展、講演会、当財団の活動報告等（年 2 回開催）。更に、当財団への理解を深め、協働参画を促し、新たな賛助会員の獲得につなげる。

③ 広報事業に寄与する事業の積極的な受託

ア 千葉ロッテマリーンズかもめ会事業

- (ア) 目的 千葉県経済界として千葉ロッテマリーンズ球団の活動を支援、応援し、球団と千葉市民県民との絆と連携を深め、プロ野球の振興及び地域経済の活性化に寄与することを目的とする当会の事務を受託し、地域社会の健全な発展を目指すことを目的とする。

なお、当会の運営は、県内外の経済界と広く関わり、また、千葉県、千葉市とも強固な協力体制を持つ当財団でなければできない事業であり、受託することにより一層の地元企業・団体との連携を強め、協力体制を構築できる等、当財団運営との相乗効果が図られる。

- (イ) 対象 当会の趣旨に理解を示す企業、団体等
- (ウ) 公表方法 誰でも自由に閲覧できる媒体（Face to Face（HP 上）、報道発表等）で公表する。
- (エ) 内容 激励観戦会（年 3 回）、会員の集い、機運醸成（横断幕掲示等）、春季キャンプ激励訪問等

2 国際交流部門

(1) ネットワーク化事業【Ⅱ主要事業2-(2)】

国際交流・協力、多文化共生を支えるボランティアの登録、紹介を行い、草の根レベルによる活動を支援する。

また、ボランティアの資質や実践力の向上、賛助会員や県民等の国際理解向上などを目的とした講座を開催する。

このほか、ボランティアや地域の国際交流協会、民間交流団体、行政機関等が情報交換や意見交換を行うための会議の開催や、交流の場の提供、国際交流・協力団体調査の実施等を通じ、関係者とのネットワークの形成を図る。

① 国際交流ボランティア制度の運営

ア 国際交流ボランティア制度の運営

国際交流事業への積極的な参加を希望する県民を対象に、次のカテゴリーでボランティアを登録し、活動の場を紹介する。

- (ア) 語学ボランティア（通訳や翻訳等、語学を通じて国際交流を図る。）
- (イ) ホストファミリーボランティア（外国人を家庭に招待して国際交流を図る。）
- (ウ) 文化ボランティア（趣味、特技、外国生活体験等を生かして国際交流を図る。）
- (エ) 日本語ボランティア（外国人と日本語によるコミュニケーションを通じ国際交流を図る。）

イ 多文化共生サポート制度の運営

医療、福祉、教育等による生活支援を緊急に必要とする県内在住の外国人に対し、語学ボランティアなどを派遣するとともに、必要に応じ、ボランティア活動費や保険料の支援を行う。

② 多文化共生ボランティア養成研修事業

ア 日本語ボランティア養成のための講座

在住外国人に対し日本語を教えながら交流しようとする県内のボランティアや県民を対象に、必要となる基礎的な知識や素養を養うための講座を、日本語指導者等を招いて実施する。

本年度は、県内で日本語ボランティアが比較的少ない地域において開催し、日本語ボランティアの地域的バランスを図る。

イ 日本語ボランティア・スキルアップ講座

県内で活動する日本語ボランティアを対象に、在住外国人への日本語指導に向けた更なる資質向上を目指すための講座を、日本語指導者等を招いて実施するとともに、ボランティア間のネットワークづくりを図る。

ウ コミュニティ通訳研修

県民から登録があった語学ボランティアを対象に、県内の外国人が生活する上で必要となる基本的事項（出入国、戸籍、福祉等に係る行政手続など）について学ぶ研修を、専門家等を招いて実施し、在住外国人からの相談等に役立てる。

③ 国際理解セミナー事業

県民や民間交流団体、学生等を対象に、異文化理解の促進、国際的意識の向上、国際交流・協力活動の促進等に役立つ講座や展示などを、専門家等を招いて行う。

④ ちば出前講座

県民の国際理解や国際協力への意識啓発等を図るため、在住外国人や青年海外協力隊OBを講師として団体や学校、公民館などへ派遣し、出身国や開発途上国での体験等を伝える講座を、JICA（国際協力機構）と連携して実施する。

⑤ 様々な主体との交流・調整事業

ア 国際交流・協力等連絡会議

県内の民間交流団体や地域の国際交流協会等を対象に、千葉県国際交流センターによる実施事業の周知や、団体活動に関する情報交換、意見交換を図るための会議を開催し、団体相互の連携を促進する。

イ 相談事業意見交換会

日ごろ、県内在住の外国人からの生活相談等に応じている、地域の国際交流協会や市町村等の相談担当者を対象に、相談に役立つ知識の習得や情報交換、意見交換等を図る会議を行う。

ウ 外国人児童生徒日本語指導者意見交換会

県内において、日本語を母語としない子どもへ日本語指導を行うボランティア等を対象に、必要となる知識の習得や情報交換、意見交換を図るための会議を行う。

エ 国際交流・協力団体調査

県内の民間交流団体等を対象に、所在地や活動内容、賛助会員の状況等について調査し、その結果を団体や県民等へ周知することにより、団体活動への理解や参加促進等に役立てる。

⑥ 国際交流サロンの提供

県内の民間交流団体等や県民に対し、国際交流・協力活動や研修、交流、国際関連情報提供等の場となる国際交流サロンを運営し、研修室や資料コーナー等を提供する。

⑦ 在外千葉県人会活動補助

歴史的背景等により多数の県民が移住したブラジル、アルゼンチンの千葉県人会に対し、千葉県と連携して、活動に対する補助を行うとともに交流を推進する。

(2) 情報提供事業【Ⅱ主要事業2-(1)-①】

千葉県国際交流センターの事業や県内の民間交流団体等の活動、在住外国人のための生活情報などを、賛助会員や団体、県民、在住外国人等へ、印刷物やホームページ、メーリングリストにより提供し、国際交流・協力、多文化共生の啓発や活動促進につなげていく。

① 会報「国際交流つうしん」の発行等

ア 会報「国際交流つうしん」の発行

千葉県国際交流センターの実施事業や、県内の民間交流団体の活動等を紹介し、国際交流、国際協力、多文化共生等に関する意識啓発や活動促進などにつなげるため、賛助会員や県内の民間交流団体、県民等を対象に、会報「国際交流つうしん」を発行する（年3回発行、ホームページにも掲載）。

イ 「国際交流伝言板」の発行

県内の民間交流団体や行政機関などによる国際交流等関係事業（イベント・募集事業など）を「国際交流伝言板」として取りまとめ、賛助会員や在住外国人、県内民間交流団体等に対し、4か国語（日・英・中・西）により発行する。

また、県内の民間交流団体等によるボランティア募集情報を収集した「ボランティア募集！伝言板」を併せて発行する（年3回発行、ホームページにも掲載）。

ウ ホームページによる情報提供

千葉県国際交流センターによるホームページを運営し、次のような内容を掲載することにより、賛助会員や在住外国人、民間交流団体、県民等への情報源とする。

最新情報、県内在住の外国人への生活情報や相談業務、国際交流ボランティア制度、県内の民間交流団体や日本語教室等の状況、国際協力情報、会報 など

エ メーリングリストの運営

県内の民間交流団体やボランティア、県民等が、国際交流・協力等に関する情報を交換するため、メーリングリストを運営する。

② 千葉県外国人学生住居アドバイザー事業

県内に在住を希望する外国人学生の住居確保を支援するため、千葉県と連携するとともに、(社)千葉県宅地建物取引業協会及び(社)全日本不動産協会千葉県本部の協力を得て、住宅に関する情報提供や助言を行う。

(3) 在住外国人支援事業【Ⅱ主要事業2-(1)-②】

県や専門家、ボランティア等と連携して、外国人テレホン相談や無料法律相談などを実施することにより、県内において増加や定住化の傾向が見られる在住外国人に対する、悩みの解決や安全・快適な生活に向けた支援を行う。

また、防災意識を啓発するためのバスツアーや、地域との協力による児童生徒向けの「サバイバル日本語講座」を実施し、在住外国人が日本での生活に適應できるよう支援する。

① 外国人テレホン相談事業

県内在住の外国人による生活上の悩み等に広く応じ、安全で快適な生活を支援するため、4か国語(日・英・中・西)対応の「外国人テレホン相談」を、受託により実施する。

受託に当たり、十分な語学力や相談対応力を有する千葉県国際交流センターの国際交流推進員を活用し、これまでの相談対応実例や人的ネットワーク等の蓄積を生かしながら、効果的かつ速やかに事業を遂行していく。

② 在住外国人のための無料法律相談

県内在住の外国人が抱える生活上の問題における法的解決を支援するため、千葉県弁護士会及び千葉県行政書士会と協力して、法律相談を毎月実施する(但し、下記③の無料総合相談会の実施月を除く)。

③ 在住外国人のための無料総合相談会

県内在住の外国人が抱える生活上の問題に、専門的な見地から、総合的に幅広い分野で支援するため、弁護士、行政書士、社会保険労務士等による無料総合相談会を年1回開催する。

④ サバイバル日本語講座

日本に来て間もない等の事情をもつ、県内の日本語を母語としない児童生徒などを対象に、日常のコミュニケーション等に役立つ初歩的な日本語講座を、地域の国際交流協会やボランティアなどと連携して、夏休み等の期間中に短期集中で開催する。

⑤ 地震・台風・火事の体験ツアー

県内在住の外国人を対象に、地震・台風・火事への防災意識等を啓発するため、「地震・台風・火事の体験ツアー」を、受託により実施する。千葉県西部防災センターを訪問し、地震や風水害、緊急避難等の体験や、参加者とボランティアとの交流などを行う。

受託に当たり、千葉県国際交流センターの広報媒体やネットワーク等を活用しながら、広く在住外国人の参加を呼び掛け、事業を遂行していく。

(4) 自治体国際化協会等からの助成金事業【Ⅱ主要事業4-(2)】

① 多文化共生実践力向上セミナー

語学ボランティアやその参加に意欲のある県民等を対象に、定住化の進む在住外国人を支援するために求められる、特定の生活分野（医療、子育て、教育、就労等）に関する知識と、これに関する語学力を併せて養成するための講座を、専門家等を招いて実施する。

② 地域日本語教室企画・コーディネート講座

地域の国際交流協会職員等を対象に、在住外国人の国籍や生活環境、ボランティアや関係機関との連携等による地域の状況を踏まえながら、日本語教室を設置・運営していくための企画力やコーディネート力を高める講座を、日本語指導者等を招いて開催し、県内に在住する外国人の日本語学習環境の向上を図る。